

大会参加における新型コロナウイルス感染症予防対策について

広島県社会人バスケットボール連盟

Rev3_2023.03.17

試合前日まで

- ① 自身の試合の1週間前から、毎日検温し、記録しておく。
- ② 開催日2日前（48時間前）から試合当日までの間に、体調が悪い、発熱があった、味覚障害の症状を感じた、などの場合は、勇気を持って試合に参加しない。

チームが準備するもの

- ① マスク、ゴム手袋、体温計（あれば望ましい）フェイスガード、マウスガードは認めない
- ② マスク、手指消毒用アルコール、自チーム使用の器具、ベンチ等の消毒用アルコール、紙タオル、ゴミ袋
※消毒用アルコール、上記の備品については大会本部でも用意しますが、設置する場所が限られるため、自己防衛のためにも各チームでご用意ください。

試合当日の流れ

（自宅出発～会場到着直後）

- ① 試合会場へは可能な限り更衣を済ませて来場し、できるだけ試合前の体育館の更衣室使用を控える。
- ② 大会受付にて大会役員による検温を受けた後、「健康チェックシート」を提出する。
※「健康チェックシート」は一人1枚。
※「健康チェックシート」は 試合日毎に必要。
※提出がない場合は、感染拡大防止のため入場不可。運営側で予備は準備しません。
- ③ IDカードを受け取り、ソーシャルディスタンス(2m)を保ちながら、指定された時間までアリーナの外で待機する。
※再入場の際には提示していただきますので、常時、携帯すること。
※入場の際には、マスク着用の上、手指をアルコール消毒すること。

（試合前）

- ① 試合会場では、マスクは常時着用をすること。
- ② 試合会場では指定された待機所でソーシャルディスタンス(2m)を保ちながら待機すること。

（前試合のハーフタイム）

- ① 該当チームのみ入場する。
 - ・選手はコート上でのアップ中はマスクを取り外しても可とする。
 - ・チームスタッフは常時マスク着用のこと。
- ② 入退場時に出入り口が密にならないように配慮すること。
- ③ 終了後、速やかにアリーナから退出し、ソーシャルディスタンスを保ちながら待機すること。

（試合中）

- ① マスク着用について
 - ・選手はコート上での試合中・アップ中はマスクを取り外しても可とする。
 - ・選手はベンチでは交代直後を除き極力マスク着用のこと。
 - ・選手で怪我等でゲームに出場しないことが明らかな場合はマスク着用のこと。
 - ・チームスタッフは常時マスク着用のこと。
- ② 声を出しながらのアップは禁止。
- ③ 試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は行わない。
- ④ 円陣は組まない。
- ⑤ 相手チームの倒れた選手に手を貸さない。
- ⑥ ハイタッチ、抱擁を行わない。
- ⑦ 咳エチケットを守ること。
- ⑧ ボトル、タオルを共有しないこと。
- ⑨ コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮すること。
- ⑩ 控えの選手は大きな声での会話や応援等は控えること。

大会参加における新型コロナウイルス感染症予防対策について

広島県社会人バスケットボール連盟

Rev3_2023.03.17

- ⑪ 選手交代前後において、手指のアルコール消毒をすること。
- ⑫ TO時もマスクを着用し、会話を控えること。

(試合後)

- ① 試合終了後はベンチエリア・TOエリア・TO器具の消毒を行うこと。
- ② 選手は速やかに、コートから退場すること。
- ③ 試合終了後、ミーティングは手短に済ませること。
- ④ 更衣について
 - ・利用者はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
 - ・利用者は更衣室の滞在時間を短くするため着替えに限定する。
 - ・シャワー利用者は交代で使用し、密集を避ける。
- ⑤ ゴミは必ず持ち帰ること。
- ⑥ 更衣後または担当業務終了後、下記対応後、速やかに体育施設から退出すること
 - ・IDカードを1日毎に、1人ずつ大会受付にて返却

帰宅後の過ごし方

- ① 手洗い、うがいを徹底する。
- ② 試合終了後2日間以内にチームの中から新型コロナウイルス感染症を発症した人が出た場合は、速やかに連絡すること

責任者：河内 凡子

携帯電話：090-8600-5451

E-mail：fukuyama_bba_bk@vanilla.ocn.ne.jp